光る知性　豊かな心　強い意志

南中生

長井市立長井南中学校
令和 6年 12月 24日
校長　柿　崎　　円

心を育む給食週間

給食の歴史・給食の裏側・給食の意義を学びました

「心を育む給食週間」では、給食委員会が食べる時間をしっかり取れるように呼びかけたり、「残食０メニュー」（２０日コーンポタージュ）を決めて声がけをしたり、感謝の気持ちをもって給食が食べられるように活動しています。全校朝会では、栄養教諭の先生より給食の歴史や給食の裏側、意義について講話がありました。

給食は明治２２年（１８８９年）に現在の鶴岡市にあった忠愛小学校で始まったとされています。家が貧しく、弁当を持参することができない子どもがたくさんいたため、小学校を建てたお坊さんが昼食を出したといわれているそうです。

給食の献立は【成長に必要な栄養】【旬や行事】【長井市の食材】【外国や日本の食文化】を考えて立てられているそうです。また、【病院の給食は治療】【介護施設の給食は癒し】【保育所の給食は元気】【学校の給食は教育】と言われるそうです。「食の選択肢をどんどん増やしてほしい。それが人生の豊かさにつながる。」葵先生の願いも知ることができた時間となりました。



学校給食始まりの献立は【おにぎり】【塩鮭】【野菜の煮びたし】。給食記念日は、当時と同じ献立をごちそうになりました。おにぎりは、調理師さん６人で長井市内の学校の児童生徒･教職員分約２０００人分をひとつひとつ握ってくださったそうです。

以前、学級担任をしていた頃、女子生徒が給食のおかずを一口食べて「不思議な味がする。」と言いました。【不思議な味】という表現を珍しく思い、「不思議な味って？」と聞きました。その生徒は、「小学校の時に調理場に行ったことがあったんです。給食を作ってくださっている調理場の方々の姿を見たら“嫌い”とか“美味しくない”と言うのは申し訳ないと思ったんです。それ以来、露骨に“嫌い”とは言わず“苦手”と言うようにして、全部は食べられなくても一口は口にするようにしているんですよ。」と教えてくれました。

今の南中生にも、見えないところで給食に関わってくださっている方への感謝の気持ちをもち、味わってごちそうになってほしいと思います。

「自立と共生」（SNS 講話）・学校保健委員会

「冬休み前の SNS 等の利用や異性との関係において、自分の生き方としてどのように行動をとるべきか深く考え理解を深め、豊かな人間性を形成する」「自己表現力を高め、適切な判断や意志決定、行動の選択能力を身につけようとする意欲や態度を育てる」をねらいとした「自立と共生」（SNS 講話）の学習を行いました。学校保健委員会とタイアップし、講師に株式会社 Gazi 工房代表取締役　原　一宜。氏をお招きし、「SNS の知識と判断力を高める」の演題のもと講話をいただきました。

SNS を上手に利用するには、**【コミュニケーション能力】【モラル】【リテラシー】**が大事だということ。特殊詐欺や闇バイトに若者が巻き込まれていく仕組みや危険なアプリ、巻き込まれないための注意点など、実例を挙げながらお聴きしました。一度 SNS 上にあげた情報は半永久的に消えないこと（**【デジタルタトゥー】**）や**【エコチェンバー】【フィルターバブル】**により、視野が極端に狭くなり、自分の意見が正しいと思い込み、情報を排他したり他の意見に攻撃的になったりすることが問題となっていること。また、中学生のスマホやインターネット利用は自己責任＋保護者の責任であること。正しい知識と共にリスクや使い方、行動を子どもと保護者がよく話をする大切さ。その中でルールや納得のできる環境を整える必要性を教えていただきました。

講話より

「１０代のコミュニケーション能力は未成熟であり、口に出して思いを伝えることは特に難しい。うまくできなくて当たり前。でも、伝える努力をしよう。学校は考える力を養う場、コミュニケーション能力を身に付ける場。小さな失敗を繰り返して成長していく。小さな失敗から逃げない努力が必要。また、インターネットの先には人がいることを理解する。同じ人などいない、違って当然。インターネットは送信・受信の双方向性。だからコミュニケーション能力が必要になってくる。異なる意見や他の人を尊重する、思いやりを持つ。これができればインターネットや AI を使いこなせる人間。できなければ、AI から使われる人間。デジタルな時代だからこそ、心の在り方が問われている。他人の痛みが分かる、人に優しくできる人間になってほしい。」

異なる意見や視点に積極的に触れ、様々な情報源から判断し尊重することや多様性を認めること、【心】の在り方がこれから一層大事になってくること等を知る貴重な時間となりました。SNS 利用に限らず大事にしたい観点です。

先日、闇バイトの追体験ゲームがテレビやニュースで話題になっていると情報をくださった保護者の方がいらっしゃいました。自分で使う時間が増える冬休みを前に、各ご家庭で SNS 利用について話題にしていただきたいと思います。

学校保健委員会、SNS 講話にご参加いただいた保護者の皆様ありがとうございました。